

第2回大阪広域ベイエリアまちづくり推進本部会議

《議事概要》

■日 時：令和2年8月19日（水）10:00～11:00

■場 所：大阪府新別館南館8階 大研修室

■出席者：別紙「出席者名簿」のとおり

■要 旨

○開会

本部長（吉村知事）

大阪広域ベイエリアのまちづくり、大阪の成長にとって非常に重要だと思っている。世界の諸都市を見ても、ベイエリアはその都市の成長を牽引するエリアであり、非常に価値が高い。これまで大阪ではなかなか難しい状況だったが、今、一步一步着実に進んでいる。

まず、大阪府市が連携して成長戦略を作って実行してきた。大阪・関西万博の誘致、今コロナで少し止まっているが、統合型リゾートIRの誘致等を含めて、港の戦略というのをやってきた。大阪市の港湾と大阪府の港湾、組織を統合し、一体となって港湾戦略を構築できるところまで来ている。世界において非常に港湾ベイエリアの競争が激しくなっているなか、大阪はこの力をつけていきたい。そのためにも大阪府、大阪市、堺市のベイエリアが一体になってまちづくりをしていくことも非常に重要だと思っている。

特に、堺泉北港は大阪府の港湾ということで一体化して港湾エリアについて戦略を練っているところであるが、まちづくりにおいて堺駅・堺旧港周辺のまちづくりというのは非常に重要だと思っている。前市長のときは連携して進むことが難しかったが、永藤市長になってから、ベイエリアのまちづくりについても一体的に進めていこうという方向性になっている。

前回の推進本部会議において、大阪府、大阪市、堺市が一体になって進めていく体制を整え、幹事会でこの間議論を深めてきてもらった。中間とりまとめ案が一定できたということで、本日その議論を深めていきたいと思う。世界に冠たる大阪にしていくためにもベイエリアのまちづくり、しっかり進めていきたいと思うのでよろしく願いたい。

○資料説明

事務局

資料1 大阪広域ベイエリアまちづくりビジョンの検討経過とスケジュール、資料2 大阪ベイエリアまちづくりビジョン中間とりまとめ案【概要】、資料3 大阪広域ベイエリアまちづくりの今後の進め方について説明

○意見交換

副本部長（永藤堺市長）

堺旧港周辺まちづくり部会が設置されるというご提案、本当にうれしく思っている。堺の歴史は海との関わり抜きには語れない。冒頭、吉村本部長からもお話があったが、海辺の空間というのは世界的にもとても魅力があるエリアである。堺旧港、そして堺浜もこれまで高いポテンシャルを活かしきれなかった。万博会場となる夢洲エリア、今IR誘致を目指している夢洲エリアが未来だとすれば、堺旧港は歴史だと考えている。この未来と歴史が共存する大阪ベイエリアは、さらにこの魅力を増すことが

できると考えている。

環濠エリアに今も残る伝統産業であったり、千利休の屋敷跡等、伝統文化が今も息づいている。そこから 2 キロ離れた大仙公園エリア、世界遺産に登録された百舌鳥古墳群がある。このエリアについて、堺市が責任を持って、まずはコンテンツを徹底的にみがき上げて、訪れた方にとっても、住民にとっても魅力あるエリアにしていく。さらに 10 キロほど東に行ったら古市古墳群があるが、サイクルルートを活用し、泉州エリアと南河内エリアを強固につなげることで、南大阪の発展につなげることができると考えている。

海上交通も非常に重要だと考えており、堺と夢洲、関空とを結ぶことで、相乗効果が生まれると思うので、ぜひこれも実現していただきたい。

資料を見ると“食”に関してあまり触れられていない。大阪の食というと粉もんが有名だが、本当に層が厚い食文化があると思っている。特にベイエリアに関しては新鮮な海の幸が本当においしい。そして水ナスとか玉ねぎとか野菜も豊富に種類がある。これらの食材は、大阪の日本酒とかワインともよく合う。例えば、夕日を眺めながらおしゃれな空間でおいしい海の幸と大阪産（もん）を味わっていただけるようなスポットが複数あると、大阪のベイエリアを訪れる人にとっても魅力的だし、これをきっかけに大阪に行ってみようと思う人も増えると思うので、ぜひ、大阪の食というものをこのベイエリアのまちづくりとともに検討していただけたらと思っている。

堺市として、まずは 2025 年大阪・関西万博を目指して、その後の大阪の発展のために最大限貢献したいと考えているのでよろしくお願ひしたい。

岡本大阪府府民文化部長

ベイエリアの魅力というところ言えば、今後、IR・万博ができる中で、しっかりとその起爆剤、プロモーション、ストーリーを作っていくかといけないと思うが、その中で、例えば舞洲であれば、7 月、8 月、9 月というのはすごく野外イベントでにぎわっているし、堺浜エリアも今年は中止となったが、例年 5 月に METROCK というイベントをやって 5 万人が来ている。さらに南の泉大津フェニックスは 6 回も 7 回もイベントをして、かつては、関空に近いので世界的なアーティストが来たら、アジアの人が関空に来て、そこから 30 分以内にコンサートが見られるとか、そういう作り方をはじめた時もある。泉南のほうも花火とコンサートをしているというふうに、ベイエリア全部そういうつながりがある。

さらに IR、万博ができて、にぎわいを作りながら南のほうへ、夢洲から堺、泉大津、そして泉南まで、ちゃんとストーリーを作っていくの売りにしていく必要があると思う。それぞれ個々で頑張っているものをストーリーでつなぐことがベイエリアの魅力だと思う。しかも、このベイエリアのところ、交通手段がなく、皆さんいろんな工夫してやっている。そこにあって人が来る、集まる。そこにもう少し何かストーリーと夢と、大阪湾っていうのはこれだけのことができるエリアがつながっている、それはしっかりと位置付けていってほしいと思う。

事務局

ご指摘の点について、今後さらに泉州の地域の検討も進めていくなかで十分に取り入れていきたい。

副本部長（松井大阪市長）

永藤市長からも夢洲と堺旧港をつないでいくという話があったが、今コロナのなかで自転車が非常に注目されているし、堺は自転車だと。大阪市の場合は万博までに都心部からサイクルロードを全部整備

しようということをやっているのですが、ぜひベイエリアを堺旧港から、もちろん海上交通もあるが、自転車でも夢洲と往来できるというようなものをぜひ考えてもらいたいし、堺側がだいぶ力を入れてもらわないといけないと思っている。堺の自転車が走り回るといふ、そういう新しいルートというのも作ってもらいたいと思っている。

副本部長（永藤堺市長）

松井副本部長がおっしゃったとおり、自転車のまち堺と言われており、これまで自転車ルートも整備してきたが、途切れ途切れになっていて、この区間は自転車ルートがあるけれども、ここからはないという、点在している状況にある。

まずこの点在しているルートをきちんと面として考えなくてはいけないので、例えば夢洲とつなげていくときにしっかりと大阪市さんと協議をしながら、堺側もそれに接続できるようにしたい。自転車に乗って大阪市から堺に来る場合に、ここで途切れてしまったら自転車に乗っている人もうんざりするし、逆も同じなので、ここは協議しながら、堺市も力を入れて、きちんと自転車が通れる空間を整備していく。もちろん大阪市さんだけでなく、近隣の市町村、そして、アワイチ、ビワイチというところまでつなげて、関西サイクルルートとなるようなところまでベイエリアをつなげていけたらと思っている。

事務局

サイクルルートについては、既に色々と検討されているので、それをベイエリアのまちづくりにも十分反映させていきたい。

本部長（吉村大阪府知事）

堺駅・堺旧港エリアは非常に歴史・文化を活かせるエリアだということだが、それに加えて、その魅力を引き出すための一作業があると思っている。それがたぶん食というのが一つのポイントになるんじゃないかという永藤市長のご提案なので、何かコンセプトを明確にして、とんがったものを作っていくとか、ここにしかないものをここでやるということが非常に重要になる。そうすることによって、ここから海運で夢洲に行ったり、あるいは百舌鳥・古市に行ったりするということにもなると思う。

そして今コロナでどうしても海外のお客さんがいないが、昨日のニュースか何かで、コロナが収まったときにどこが一番行きたいかというので日本が一番になっていた。そのときに、今までは関空からミナミに一直線に行き、堺駅で降りる人は少ないが、堺旧港エリアは非常に魅力もあって、堺駅から歩いて行けるエリアなので、そういった目で日本の国内はもちろん、世界的に見てもとんがったものをここで展開していけば、歴史の魅力も伝えられるし、海で夢洲にもつながるし、という何かコンセプトを具体的なものにして、永藤市長がおっしゃった食というのは非常に面白いテーマかと思うが、そこをちょっと突き抜けたものを考えていくというのも一つじゃないか。

どうしても役所だけでやると凝り固まったものになりがちなので、民間の人なんかも入れながら、食をテーマにして、このエリアを盛り立てていく、歴史が非常にあるところをしっかりとその魅力も発信できるようにするというのが、重要なんじゃないかなと思う。

質問だが、このエリア、今まではなぜ開発が進んでこなかったのか？課題が何かあって進んでこなかったのか？

事務局

大浜北町市有地活用事業については、以前にも結婚式場などのテナントが入る民間誘致の話があったが、民間さんのほうが撤退されたというような事情があり、なかなか思うように進んでこなかった。

もう一つ、われわれ課題だと思っているのが、南海本線の堺駅からは非常に近い場所にあるが、堺旧港に至る動線、特に国道 26 号線の下をくぐっていくあたりが非常に暗い状況になっていることと、人が住んでおられるエリアから離れていることもあり、あまり人が行かない場所になっていた。昨年、夕立で途中中止にはなったが、市でイベントをし、すごく魅力がある場所だというのは、だんだん皆さんが分かってきてくれていると考えている。

田中大阪府副知事

幹事会で一度この現地を視察したときの皆の印象では、いろんなポテンシャルというか素材があるが活かしきれていない。

個人的な印象だが、それぞれプレーヤーがたくさんいて、南海もいて、ホテルも結構あるが、全体がどっちに向かって一斉にスタートしようとしているという方向性があまり見えない。それぞれが動きを見て、慎重になっているのではないかという感じがする。

そういう意味では今回、部会を設けて、府、堺市含めて、これから色々な有識者の意見も伺うが、ビジョンをしっかりとまとめて、進むんだという姿勢を明確に打ち出せば、色々な要素がこれから動き出すのではないかと期待している。そういうことも含めてこれから半年間、精力的に作業を掘り下げていきたいと思っている。

副本部長（永藤堺市長）

この近所に住んでおり、堺区選出の大阪府議をしていたときに、大阪府の事業なので、色々と話しも聞いている。

なぜこれまで活用されなかったといえば、一つは、あまり見向きされなかったということがあると思う。大浜公園はかつて関西一のアーバンリゾートと言われ、南海歌劇場があって、温泉があって、旅館があって、水族館もあって、砂浜も広がっていたという歴史ある公園だが、戦後、かなり様相が変わってしまった。今は、堺市営の公園になっている。

そして、この堺旧港という地域も、夏には花火が上がって、市民の皆さんからすると本当に馴染みの場所だが、仁徳天皇陵が世界遺産になると思っていなかった方がたくさんいらっしゃったのと同じで、堺旧港も馴染みがあり過ぎて、ポテンシャルがあるエリアと思われていなかったため、これまでなかなか動いてなかった。

今回、大阪府さんと大阪市さん、そして堺市が一緒になって方向性を打ち出すことで、たぶん初めての試みだと思うが、このエリアというのは劇的に変わると思っている。堺駅とも近いし、民間事業者さんも関心がある方が多くいらっしゃると。しかも 2025 年の大阪・関西万博という大きな目玉もあるので、この機にこのポテンシャルが埋もれているエリアを変えていきたい。今までなかなか見向きされなかったエリアを、この宝石をみがいていきたいと思っている。ポテンシャルは非常に高いものがあると、私は信じている。

副本部長（松井大阪市長）

パークマネジメント化は進んでいるか？

副本部長（永藤堺市長）

現在、大浜体育館の建替えを行っている。ここはもともと大浜体育館があったが老朽化に伴って、今度、武道場とアリーナを新設した建物ができる。ここの建設と運営、そしてテニスコートとスポーツ施設があるが、それも一体で運営することになっている。広い公園なので、将来的には大浜公園全体をパークマネジメントできるようにしていきたいと思っている。

副本部長（松井大阪市長）

早くやったほうがいいのでは？今の大阪城公園のパークマネジメントもそうだけど、全体を見ながらお客さんを集めるノウハウは、やっぱりわれわれより民間のほうが非常にレベル高い。彼らの場合それがビジネスだから。人が来ないとビジネスとして成り立たないから、色々な新しい催しをバンバンやってくれるので。それはやっぱり役所でやるよりも民間に。もちろん競争はしてもらって。早く、もう大浜公園のパークマネジメントの公募をかけていくぐらいのほうが良いと思う。

副本部長（永藤堺市長）

堺旧港エリア、重点エリアとして部会も立ち上がるということで、一つビジョンが示されれば、民間の皆さんも意欲を示してくれると思う。そのときに、この大浜公園というのをどう活かせるか、都市の公園としてどう魅力的に活用できるかということは、ぜひ民間の皆さんにも、意見をお聞きしていきたいと思っている。

高橋大阪副市長

堺駅だが、今年度なにわ筋線が着工する。そうすると、関空、堺駅、それから難波、中之島、うめきた、新大阪とつながっていくので、そういった拠点と連携するような、しっかりとしたポテンシャルを持っているエリアだと思う。

そういった将来の市内の拠点と比肩できるようなエリアとして、しっかりとビジョンを作る。そのときに大事なのは、現場視察させていただき、環濠エリアの内側と、駅のエリアと、それから臨海部が、これまでバラバラで動いていたのかなと思うので、やっぱり、真ん中の鉄道事業者にしっかりと役割を認識していただいて、一体的にこの街を作っていく。そういったかたちのビジョンをしっかりと作って、民間の力を引き出すような協力支援を一緒にできたらなと思っている。

島田堺副市長

高橋副市長がおっしゃるように、堺駅については、なにわ筋線が 2031 年にできれば、広域の交通拠点となると考えている。この機会をとらまえて、鉄道事業者とも連携することが重要だと思っているので、部会のなかでもその辺をしっかり議論したいと思う。

これまでなかなか進まなかったのは、永藤市長も田中副知事もおっしゃっていたように、ここは、魅力はあるけども、ここが将来良くなって、民間として投資しようという意欲がなかなかなかった土地です。今回、大きく変わるんだというのが、大阪府さんと一緒にビジョンができるってということで、民間に営業かけていけるかと思っているので、パーク PFI も含めて検討していきたいと思う。

副本部長（松井大阪市長）

岡本部長、METROCK でコンサートやってる場所はここ？

岡本大阪府府民文化部長

ここからバスに乗って、2 日間で 5 万人、この先（堺浜）へ行く。

副本部長（松井大阪市長）

もっといろんなエンターテインメントが呼び込めるエリアになるんじゃないの？

岡本大阪府府民文化部長

呼び込めると思う。とんがったものとしてエンターテインメントの拠点にすることは可能だと思う。

副本部長（永藤堺市長）

堺浜は広域防災拠点になっており、普段は広場なので、そこで METROCK だったり音楽イベントが行われている。この堺駅から普通電車に乗って 1 駅、七道っていう駅があるが、そこが最寄りになっており 2 キロぐらいの距離。

岡本大阪府府民文化部長

バスで大量に運ぶので、堺駅でないと交通をまかなえない。堺駅の広場からバスを会場に送っているので。七道だと駅前に広場がないので、ここを拠点にして。

副本部長（永藤堺市長）

そこも含めて、最寄り駅からのアクセスを考えている。バス輸送だけではなく、公共交通も検討しているので、来られる方の利便性がいいようにしていきたいと思っている。

本部長（吉村大阪府知事）

たぶん大阪市内と違って後背地の人口がそんなにないと思うので、民間から投資するにしても、きちんとしたコンセプトみたいなものを作らないと投資対象にならないと思う。

そういった意味で、堺駅があって、交通は非常にいいということなので、後背地の人口だけで言うとかかなり厳しい投資になってしまうから、ちょっと大きな視点と、とんがった政策がやはり必要になると思う。

役所だけで何か建てたりすると、人の来ないとこにビルいっぱい、税金費やして大赤字で終わるといことになる可能性が高いと思うので、やはりここは、民間の視点入れていかないといけないと思う。あとはやはり、とんがって人が集まるというのが重要だと思う。

副本部長（松井大阪市長）

なにわ筋線ができれば、民間投資対象としては非常に魅力ある場所になると思う。だから 2031 年のなにわ筋線、今から 10 年のスパン、そういう時間軸だから、民間にしたらそれを見越した上で、充分投資対象に今からでもなると思う。今のほうがコスト的にもそこは抑えられるわけだから、それも魅力だと思う。なにわ筋線ができあがってからやったらすごくコストも上がるから。今から民間にしっかり手を挙げてもらう。間違いなくなにわ筋線はできるわけだから。すごく魅力ある投資対象エリアになる

と思う。人も間違いなく増える。

副本部長（永藤堺市長）

2031年のなにわ筋線の開業は、本当に堺にとって重要なポイントだと思っている。

今、私たちが懸念しているのは、なにわ筋線が、関空と梅田、そして新大阪を1本でつなぐ。しかも三十数分でつなぐという路線だから、できるだけ駅が少ないほうがいいはず。そうすると、堺に魅力がなければ、素通りされることも考えられるので、きちんと堺に停まる目的を堺が持っていなければいけないという危機感を持っている。民間投資もちろん呼び込んでいくし、きちんと停まってもらえる、鉄道事業者が2分ぐらい時間かかっても堺に停めたいと思ってもらえる駅になるように、堺が頑張っていく。

事務局

引き続き、泉州沿岸地域の市町をはじめ、関連の事業者、学識経験者などからご意見を伺い、府民や市民の意向把握にも努め、大阪市から岬町までを対象としたビジョンの最終とりまとめに向けて、検討を進めていく。併せて、新たに設置する「堺旧港周辺のまちづくり」の部会の取組みを進めていくとともに、効果的な施策展開に努めていく。